

[第1号議案]

「防災塾・だるま」 2019年度活動報告

2019年5月24日開催の第11回総会で承認された、2019年度「活動計画」に基づき、「役員会」及びテーマ別に「委員会」などを組織し活動を展開しました。

なお、2020年2月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を配慮し、「定例会」や「防災まちづくり談義の会」等を中止しています。

I 活動報告

2019年度活動計画（主催・共催活動：8項目、参加・見学等：4項目）に基づき活動を展開。次項以降に活動内容を報告します。

尚、下記活動計画については委員会を立上げ計画を推進しました。

- ・「防災塾・だるまの今後」に関する検討
- ・実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座
- ・だるま防災教育資料の編集・管理・・・3BWG活動(Bousai Big Bang Working Group)

[主催・共催活動]

1. 防災塾・だるま「定例会」及び「防災まちづくり談義の会」開催・運営

・開催日及び参加者

月 日	だるま定例会	参加者	談義の会	参加者	備考（役員会等）
4月26日	2019年 4月	16名	第166回	30名	4/9第115回役員会
5月26日	2019年 5月 ・第11回総会	25名	第167回	34名	5/7 第116回役員会
6月28日	2019年 6月	18名	第168回	29名	6/4 第117回役員会
7月26日	2019年 7月	24名	第169回	28名	7/9 第118回役員会
8月23日	(休会)	—	(休会)	—	(休会)
9月27日	2019年 9月	19名	第170回	24名	9/10 第119回役員会
10月25日	2019年10月	15名	第171回 (10月11日)	38名	10/1 第120回役員会
11月29日	2019年11月	17名	第172回	25名	11/5 第121回役員会
12月13日	2019年12月	16名	第173回	24名	12/3 第122回役員会 合同懇親会（27名参加）
1月24日	2020年1月	18名	第174回	33名	1/7 第123回役員会
2月28日	(中止)	—	(中止)	—	2/14 第124回役員会
3月27日	(中止)	—	(中止)	—	(中止)
年間参加者計	昨年度213名	168名	昨年度303名	265名	

*各回の詳細は だるまHPを参照

参加者数：会員以外の参加者含む

1) 「防災塾・だるま」の活性化（定例会・談義の会参加者の減少への対応など）

- ① 広報活動；「談義の会」開催チラシなどの大学内掲示、「鎌倉萌」（鎌倉市生涯学習広報誌）への談義の会開催案内掲載を継続。

- ② 定例会で毎月次毎にテーマを決めて会員同士の意見交換を継続実施。
- ③ アンケート調査(意見、感想、聞きたいテーマ等)の実施；定例会・談義の会にて数回実施。

2) 役員の分担制の検討

- ・だるま運営のための業務で月担当役員が分担して実施する業務（役員会、定例会、談義の会が対象：6月より試行し9月より運用を開始）と専任の役員で実施する業務（HP、議事録、チラシ作成など）を明確化。
- ・会員からの活動報告や資料提供の窓口（今年度は副塾長4名）を設ける。

3) 「防災塾・だるまの今後」に関する検討

- ・検討委員会を設置（メンバー：委員長/片山、荏本塾長、池田、高松、中島、増田、山田美、鷲山）し、5回開催
- ・会員へのアンケート調査案を委員会で作成、11月役員会で内容を確定しアンケート調査
- ・2月28日だるま定例会でアンケート調査結果を報告
- ・「防災塾・だるま」のあり方は、アンケート意見等を踏まえて2021年度総会までかけて試行錯誤しながらじっくり検討を継続する。

4) だるま設備の整備（担当；中島）

HPの維持・管理用としてPC一式（本体、ソフトなど）を所持（2017年度取得）

5) 「防災塾・だるま」統一名刺の対応・・・HP参照（会員専用ページ）参照

6) 終身会員制度・会費前納制度の検討（年会費徴収の効率化）（担当；早川）

「防災塾・だるまの今後」に関する検討もあり検討保留。

2. 第14回「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の開催（主催：神奈川大学）

- ・運営委員会メンバー：中村(誠)/リーダー、高松/副リーダー、山田(美)/総司会
稲垣、片山、紅林、田中(晃)、田中(栄)、田中(喜)、早川（以上10名）
- ・10月10日～11月15日 全6回（3.5時間/回）で開催 ・講座受講者：31名
- ・開催場所：神奈川大学KUポートスクエア

<講座のメインテーマ> “ 防災・減災の取り組み：その具体的な進め方 ”

第1回 前半：「災害リスクの相互認識と共有による地域の防災・減災対策のすすめ」

講師：荏本 孝久氏 神奈川大学工学部教授・「防災塾・だるま」塾長

後半GW：「受講者の自己紹介と我が地域防災力の課題等について意見交換」

進行：山田 美智子氏 防災塾・だるま

第2回 前半：「大学と地域が連携した安全な避難など防災力向上への取り組み」

講師：梶田 佳孝氏 東海大学工学部土木工学科教授

後半：「自然災害から身を守る災害地質の知識－神奈川県は危ないのか－」

講師：稲垣 秀輝氏 (株)環境地質代表取締役会長

第3回 前半：「シミュレーションで学ぶ災害時の要配慮者トリアージ」

講師：小原 真理子氏 清泉女学院大学看護学部国際・災害看護学教授

後半：「もしもに備える、いつもに活かす～男女共同参画で身近な防災・減災を見直そう～」

講師：常光 明子氏 男女共同参画センター横浜北館長

第4回 前半：「災害リスクと対応を老若男女が共有して災害に立ち向かえる地域社会づくりを考える」

講師：鷲山龍太郎氏 地学会会員・防災士

後半：「発災対応のススメ～防災訓練から発災対応訓練へのギアアップ～」

講師：畑 謙司氏 (公社)SL災害ボランティアネットワーク上級セーフティリーダー

第5回 前半：「横浜市の災害対策～自助・共助・公助への取り組み」

講師：時枝 道太氏 横浜市総務局危機管理室危機管理部地域防災課担当係長

後半：「地域みんなで工夫した時系列に沿った地震対応訓練」

講師：田島 和則氏 平塚市崇善地区防災部長会副会長

第6回 前半：「防災はまちづくり！顔を合わせ、言葉を交わし、支え合えるまちを作りたい！」

講師：江上 健氏 関小ブロック防災協議会運営委員長・城廻自治会防災保全部長・防災士

後半GW：「我が地域防災への取り組み決意」

講師：高松 清美氏 NPO 法人よこはま・七つ星代表

(注) GW：グループワーク

3. 「防災塾・だるま」ホームページの維持・管理（担当：中島、佐藤）・・・HP参照

だるま事業活動の進展に伴い、HPによる発信情報の質的・量的な充実化を推進。

<今年度発信した主な情報は次の通り>

○だるま総会及び月次会議などの記録：

だるま通常総会、役員会（会員専用ページ）、だるま定例会、防災まちづくり談義の会

○地域貢献事業：

諸団体の防災活動への協力（建築士会関係1回）

○活動参加報告：

① 埼玉県鶴ヶ島市における「J-DAG 訓練ゲーム」（城西大学指導）

② 川崎市健康安全研究所の見学

③ 「岡山県真備町」、「1. 17神戸に学ぶ」などの参加報告（2020年1月）

○「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」：

2019年「防災・減災は地域の取組が決め手！」（全6回）・・・2019年10月～11月

○防災資料（講演資料及び防災関係資料）：

講演資料：3件（「特別掲載 「自主防災のための活用事例集」

○「毎月の情報」：近郊で開催される、各月の防災関係イベント&講座等を紹介

○会員レポート：4件（「危機管理意識と感染症との闘い」を含む）

○「だるまの今後」検討委員会（会員専用ページ）

★累計HP閲覧件数 32,455 件（2020年3月31日現在）

★2019年度年間HP閲覧件数 4,662 件（2019年4月～2020年3月）

★J-DAG ページの累計閲覧件数 4,941 件（2020年3月31日現在）

4. J-DAG（下記注参照）などの普及・レベルアップ（担当；片山）

2019年度のJ-DAG指導実施：城西大学（7月11及び18日）、相模原「防災マイスターの会」（12月1日）、鶴ヶ島市（2020年2月19日）で実施。

これまでの「防災塾・だるま」会員の協力参加者：45人、延べ参加者は201人、2回以上の参加者（終了証受領者）は29人。

注）J-DAG（Just Disaster Action Game）とは、実戦的に判断と行動をしながら体験学習する「発災直後の行動ゲーム」です。・・・詳細HP参照

5. だるま防災教育資料の編集・管理・講師育成（担当；片山）

3BWG（Bousai Big Bang Working Group）活動 原則毎月1回開催

2019年7月、「防災めぐり」子供編のパワーポイント版完成。10月「自主防災のための活用事例集」をホームページに掲載。2020年に入って、新型コロナウイルス等で活動停滞。

6. テーマ別にメンバーを募り取り組む活動（担当；中島）

1) 防災・減災に関する意見提案（パブリックコメントなどへの対応）

「神奈川県地域防災計画（風水害対策計画）修正素案」に関し、だるまで集約した。

5項目の意見提案を実施（2020年1月12日付け）

2) 地域防災への協力活動（協力事業）

2019年11月16日、神奈川区浦島自治会の依頼で地域防災のセミナーを開催。

参加；片山、田中（喜）

3) 学校防災への協力活動（協力事業）（担当；片山 鷺山）

① 南足柄市立南足柄中学校（例年実施の福祉授業）（担当；片山）

2020年2月27日、「社会福祉を学ぼう」教育でボランティア5団体の1つとして中学1年生16人を対象に「防災レクチュア」及び「防災めぐり子供編」PPT版の体験を指導。（参加協力者は現地の菅原理喜雄氏と片山の2名）

② 横浜市立北綱島小学校

6月23日(日) 参加者：田中喜世美他3名

「きたつな安全防災プラン」をもとにした授業実践と訓練に見学参加

10月20日(日) 参加者：鷺山他3名

地域と共に～全校児童と保護者が参加する地域防災拠点訓練～

③ 横浜市立太尾小学校 11月16日(土) 防災訓練 参加者：鷺山他

4) 会員向け勉強会等の開催（担当；池田）・・・HP参照

大久保一郎氏（筑波大学名誉教授・医学博士）の講演と意見交換会

日時：2020年2月14日（火）15：30～17：30

参加者：だるま会員及び神奈川大学学生など（合計25名）

テーマ：「感染症と災害 ～新型コロナウイルス感染症～」

5) 防災活動団体との交流

神奈川県大井町との交流（担当；山田富士男他）

大井町防災まちづくりの会 10 周年（5/26）講演会の報告、10 周年記念誌の紹介等
大井町防災まちづくりの会から手作り感震ブレーカーの提供がある。

7. 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」への参加協力（担当；山田美智子、鷺山）

○2019 年 6 月 23 日(日)「大学と地域の防災・減災ミーティング」を 65 名の参加を得て神奈川大学で開催。

専修大学大矢根先生の「東日本大震災における石巻専修大学学生の取り組み」の講演
桐蔭横浜大学、川崎市立川崎高校などの先進例や神奈川大学の学生の防災の取り組みの発表後、
5 つのグループに分かれて活発な討議を行いました。

○12 月 21 日(土)には関東学院大学金沢八景キャンパスで多くの大学生も含めて 94 名参加で
開催。

規矩学長による関東学院大学の災害研究の講演や学生による防災ボランティア活動の発表
ポスター発表も活発で大学間の連携ネットワークの構築のミーティングになりました。

8. 神奈川大学大規模災害対策研究プロジェクト連続講演会への参加協力（担当；荻本塾長）

2019 年度後期連続講演会「大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題 首都圏に迫るリス
クとどう向き合うべきか（全 5 回）」（2019 年 10 月 19 日～11 月 30 日）

講演名；第 1 回 大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題 1「最近の地震災害から学ぶ
-熊本地震・大阪北部地震・北海道胆振東部地震を例として」

日 時；2019 年 10 月 19 日

講 師；荻本孝久 神奈川大学工学部教授（塾長）

9. 参加・見学など

1) 神戸から学ぶ（「神戸市 1・17 追悼のつどい 2019」への参加）（担当；早川）・・・HP 参照

日 時；2020 年 1 月 14 日～17 日参加者；荻本塾長他 9 名（現地協力；山内富親氏、松山
順三氏）

訪問先；広島呉～岡山真備（山内富親氏を囲んで交流会）～野島断層～神戸（松山氏を囲んで
交流会）～1・17 慰霊式典・人と防災未来センター他

2) 防災ギャザリングへの参加 「防災ギャザリング 2019 from かながわ」（担当；田中喜）

実行委員会への参加協力者；高松、植山、田中、宮川

・4 月 21 日（土）；講演会 講師 澤野次郎氏 参加者 45 名

だるま参加者；高松、植山、田中

「めったに起きない災害がたびたび起きる時代、今後、想定される大災害」

・5 月 10 日（土）フェア開催 参加者 450 名

だるま参加者；高松、植山、田中、宮川、片山、早川、田中晃他

テーマ；「自分・家族・地域を守るための減災の「技」を体験しよう！」

グループ展示・実演（於 横浜市民防災センター及び沢渡中央公園）

3) 川崎市健康安全研究所の見学（担当；池田）・・・HP 参照

日 時：2019年10月11日（金）

参加者；18名（だるま）

内 容；研究所を訪問、案内・説明は岡部所長はじめ研究所員 20名

以 上